

## 第7回飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会 次第

日時：令和6年10月21日（月）19：00～

場所：ムトスぷらご大会議室

### 1 開会

### 2 教育長あいさつ

### 3 協議・報告事項

（1）口述資料について（資料 No. 1、2、3）

（2）飯田市平和祈念館夏休み特別展「銃後の女性と子どもの暮らし」について（資料 No. 4）

（3）夏休み！親子で行く 飯田市内戦争遺跡バスツアーについて（資料 No. 5）

（4）ちいちゃんのかげおくり貸出セットについて（資料 No. 6）

（5）平和祈念館のアンケートについて（資料 No. 7）

### 4 その他

### 5 閉会

裏面あり

### (1) 飯田市平和祈念館設立趣旨

飯田市は昭和五十九年六月二八日に「非核平和都市宣言」を行い、世界唯一の被爆国として、広島、長崎の惨禍を再び繰り返さないため、平和憲法の本質にのっとり、「非核三原則」を将来ともに尊重し、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に強く訴え、核兵器の全面撤廃と軍縮を推進し、世界の恒久平和達成を目指しています。

飯田市平和祈念館は、戦争の悲惨さや、平和の大切さを学び、戦争の現実を語り継ぐことにより、平和な社会が続くことを切望する、多くの市民の願いによって開館されました。

ここに展示・保管されている数多くの平和資料は、実際に戦争を体験された皆さんが身に着けた物や、使用していた品々です。いずれもご本人やご遺族から寄贈・寄託された貴重な資料です。

私たちは、この平和祈念館において、平和資料を通して戦時下の悲惨で過酷な状況を学ぶとともに、当地域の満蒙開拓の歴史を始めとした内外の「戦争の惨禍」の真実から、一人ひとりが「平和とは何か、そのために何をすべきか、何ができるのか」を考え、次世代に平和の大切さを語り継ぎます。

### (2) 展示内容の基本的な考え方

- \* 展示内容については、飯田市が責任を負うものとする。
- \* 学術研究の成果に依拠し、歴史史料としての根拠、出典が明確なものを展示する。
- \* 市民が、平和の大切さや尊さについて、自ら主体的に学び、考えることができる展示内容にする。
- \* 戦争の歴史を、多角的に学ぶことができる展示内容とし、戦争によって残された遺族が責められることのない展示とする。
- \* 小学生から高校生までの学校での学習を基礎にして、子どもの発達段階に即して、「主体的で、対話的な、深い学び」が可能となる展示内容とする。
- \* 住民との対話・交流等のコミュニケーションを継続的に深め、住民の合意を得ることが可能となる「公共空間」にふさわしい展示内容をめざす。
- \* 基本的人権を尊重した展示内容とする。特に著作権の侵害がないことや、個人情報への配慮を行うものとする。

### (3) 口述史料の捉え方

歴史史料には、口述史料(オーラルヒストリー)と文献史料の2種類がある。両史料に優劣はなく、歴史学が求める事実立脚性に依拠した客観性を追求するための史料批判が必要。主観的な要素を完全に排除した史料はなく不確実な要素を抱えている。両史料に優劣をつける議論はなりたない。

#### ○ 口述史料とは

- ・ 語り手と聞き手の対話の相互行為によって形成される
- ・ 主観的要素が強い。
- ・ 再検証できない限界性がある。
- ・ 聞き手と語り手しかわからない部分があるため、第三者が文字として知る事が出来たとしても全てを理解できるわけではない。「語られた状況の氷山の一角を伝えているのが文字化された口述史料」と考える必要がある。
- ・ 現在を生きる人間として主観的に解釈した過去の記憶も含まれている。その中には人から伝え聞いた情報が集合的な記憶として語られることもあり、現実の経験でなく、現時点の推測に基づいて語られている部分もある。
- ・ 文字として書いたり、映像や音声など様々な記憶媒体があり、これらの史料が重層的に複合している。

#### ○ 史料批判とは、歴史学を研究する上で史料を用いる際、様々な面からその正当性、妥当性を検討すること

- ・ 語り手と聞き手がどのような社会的条件の中で語っているか。
- ・ どんな人生経験を追って語る場に来ているか。
- ・ どんな意思と動機に基づいて語っているか。
- ・ 聞き手として、どのような意図で聞いているか。
- ・ 文字化されていない部分をどう批判的に考えるか。

#### (4)元 731 部隊員の証言に関する展示・紹介について

- 展示内容の基本的な考え方と、展示・活用検討委員会での意見を踏まえて再検討した結果として、平和資料収集委員会から提案のあったパネルについては、展示できないものと判断します。
- 元731部隊員の証言は、大変貴重なものであるため、今後も、飯田市平和祈念館の展示内容の基本的な考え方に基づき、①口述資料としての客観性が担保できること、②証言者の証言に至った背景や思いが伝わること、③証言者及び証言者が亡くなっている場合はご遺族の同意が得られることを大前提として、かつ、④子供たちの心のケアにも考慮して、パネル以外の方法を含めた展示・紹介のあり方について模索していきます。



## 飯田市平和祈念館における 7 3 1 部隊関連の資料の展示・紹介について

- ◎飯田市平和祈念館は、平和資料を通して戦時下の悲惨で過酷な状況を学ぶとともに、地域の満蒙開拓の歴史を始めとした内外の「戦争の惨禍」の事実から、一人ひとりが「平和とは何か、そのために何をすべきか、何ができるのか」を考え、次世代に平和の大切さを語り継ぐことを目的にしています。
- ◎この目的にたつて、731 部隊に関する資料を展示している施設として、展示資料を生かした探究的な学びの入口となる機能をどう充実させるのかが課題でした。
- ◎そのため、展示資料の元所有者が所属していた 731 部隊がどのような部隊であったのかについて、裁判所が判決文の中で事実認定している内容を中心に紹介するパネルを、展示活用検討委員会の皆さんの意見もお聞きしながら、独自に作成し、令和 5 年 9 月より、全国の公設の施設では初めて展示しました。
- ◎これに加え、現在は、元所有者が生前に語られた話の内容の紹介について、基となる映像資料の著作権者と、語られたご遺族の同意を得た上で行うことができないかと考え、調整・検討を進めました。
- ◎また、展示品を紹介するキャプションパネルの充実も検討しました。
- ◎なお、前述の内容の展示・紹介については、第 6 回展示活用検討委員会(R6.3.19)でお示し、各委員からも意見をいただいた「元 731 部隊員の証言に関する展示・紹介について」で示した考え方を基本において検討し、別紙のように紹介することを考えました。
- ◎731 部隊関連の展示・紹介については、現在展示している遺品資料に着目した展示・紹介の充実を行うところまでとし、今後は、(731 部隊関連以外の) まだ展示紹介に至っていない数多くの寄贈資料の展示・紹介を進め、観覧者が、多様な資料(学びの入口)から、「平和とは何か、そのために何をすべきか、何ができるか」を考えてもらえるような学習支援機能の充実を図ることに注力します。



# 元 731 部隊員が 語ったこと

日時：平成3年8月11日

催し：第4回「平和のための信州・戦争展」飯伊地区

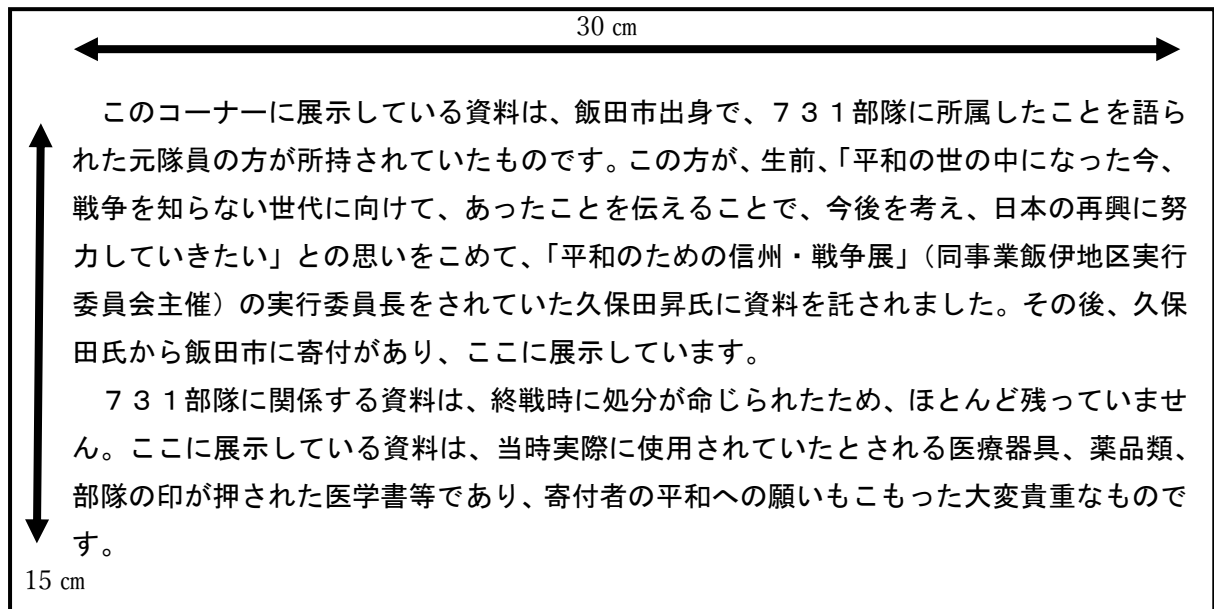
会場：飯田市公民館（飯田市吾妻町139）

- この資料は、飯田市平和祈念館に展示している731部隊に関する物品資料を所有されていた元731部隊員の方が、上記の催しで語った内容を可能な限り忠実に文字起こししたものです。
- 上記の催しを実行委員会が動画で撮影し、その動画を飯田市教育委員会が借用し、承諾を得て書き起こしました。
- 撮影した環境から語った内容が聞き取れない箇所が複数あります。聞き取れない箇所には注意書きをしてあります。
- 語った元731部隊員の方は既に亡くなっています。ご遺族の希望により、個人の特定に繋がる箇所は記載していません。
- 語った内容には、生々しい表現が含まれていることにご留意ください。

飯田市教育委員会

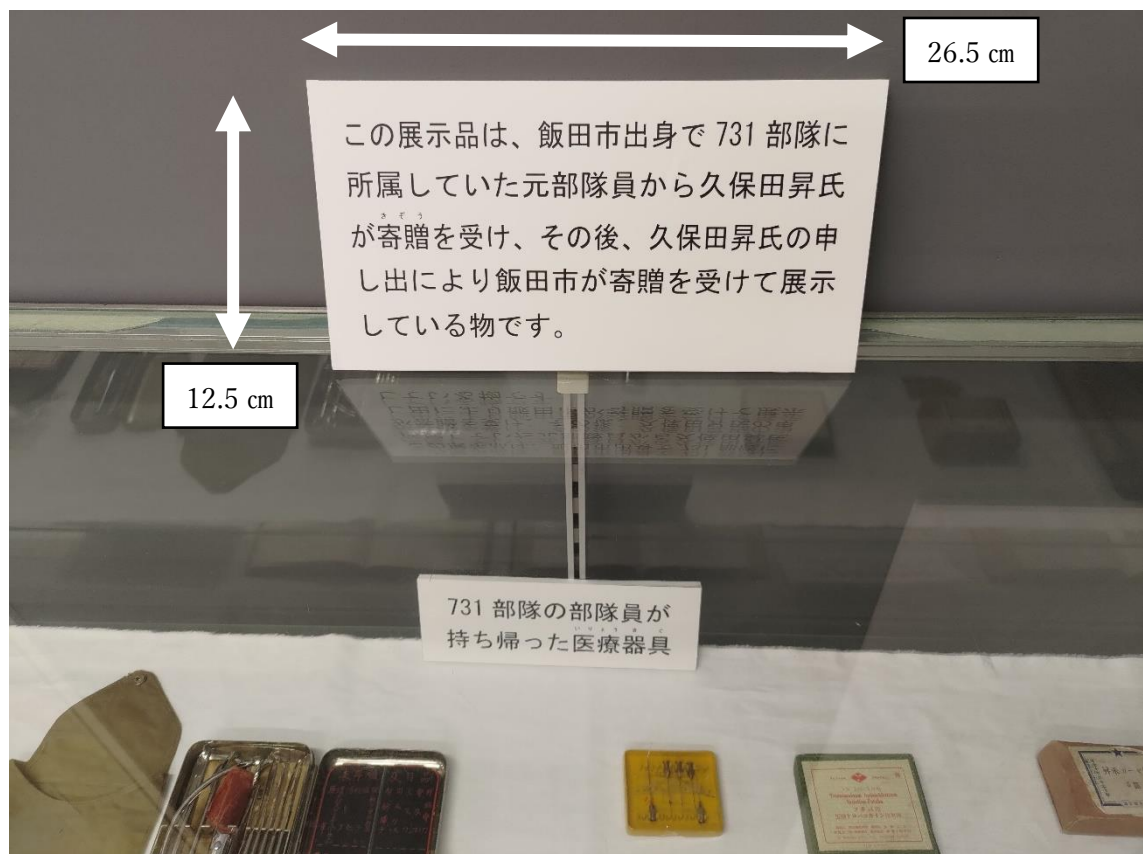
**※本文については、検討中の資料のため、  
委員の方までの配布とさせていただきます。**

## 731 部隊関連の展示品のキャプション（案）



※レイアウトは変わる可能性があります。

現在ガラスケースの上に展示してあるキャプション



## 飯田市平和祈念館夏休み特別展「銃後の女性と子どもの暮らし」について

**1 実施までの経過、目的**

令和6年8月10日から12日まで平和のための信州・戦争展飯伊地区実行委員会が「第35回平和のための信州・戦争展」をムトスぶらざで開催することに合わせて、飯田市教育委員会でも飯田市平和祈念館の展示スペースの関係で展示ができていない平和資料を展示し、資料をとおして平和を考えるきっかけとしてもらう。

**2 日時**

令和6年8月10日（土）から12日（月・山の日振替休日）午前9時から午後4時まで

**3 展示内容**

戦時中に発行された「愛国イロハカルタ」をとおして、「銃後（戦場の後方）」の子どもや女性の社会意識や暮らしぶり感じてもらうため、「愛国イロハカルタ」に登場する物品などを「愛国イロハカルタ」と展示した。

**4 見学人数**

合計196人が見学（8月10日（土）73人 8月11日（日）63人 8月12日（月）60人）

**5 催し**

8月11日（日）午前11時より飯田短期大学に協力してもらい戦時中のすいとんと、現在のすいとんの試食を配布し、すいとんがその時代背景によって持つ役割や具材が異なることを実感してもらった。

**6 見学者からの感想・意見**

- ・戦争について子に教えるにあたり、実際に経験していない親の自分がどう教えたら良いのか悩みました。本を読む他にこのような展示があり、大変興味深く学ばせていただきました。ありがとうございました。（飯田市内・40代女性）
- ・いろんなきぐが見れてうれしい。だけど、せんそうはやめてほしいと思わせるてんじ会でした。またいきたいです。（飯田市内・小学生女兒）
- ・小さなこどものゆかたにまで兵器の絵が…おどろき悲しくなりました。銃後の人々の暮らしの資料は、国の保存活動では不十分だと思うので、こうして地域で保存されいることが素晴らしいと思いました。（飯田市内・20代女性）
- ・イロハカルタ『ヘイワナ シマジマ ヒノミハタ』がとてもいいと思いました。なぜなら、へいわな日本がいいからです。（飯田市内・小学生女兒）
- ・戦時中の暮らしについての展示が心に残りました。今じゃ考えられないようなルーティーンで、見て面白かったし、すごいなと思いました。戦争がはやくなってほしいです。（飯田市内・小学生女兒）
- ・展示品を見て、生活全体が国の方向を作っていたように戦前をみることが出来ました。（飯田市内・80代男性）
- ・教育がいかに大切か、展示物を見て思いました。上からの押しつけでなく自分で考え行動出来る人間を育てる事が大切かと…（飯田市内・80代女性）
- ・かくせんそうは、にほんにおとされた二つでやめてほしい。（飯田市内・小学生女兒）
- ・今世界中が戦争の危機にさらされていると云っても過言ではありません。この様な中でのこの企画は良い事だと思います。世界中が平和であります様切に願っています。（飯田市内・80代女性）
- ・すべて戦争のため、国をあげての軍強を感じました。又、教育の大切を強く思います。二度と戦後はあってはならない。（東京都・年齢性別不明）



すいとん配布の様子



展示物見学の様子

## 夏休み！親子で行く 飯田市内戦争遺跡バスツアーについて

## 1 見学場所

- ①飯田市平和祈念館 ②奉安殿（上郷地区：飯田女子高校付近）  
 ③希望の像（飯田高校敷地内正面玄関付近） ④松根油採取場所（野底山）  
 ⑤丸山小学校（空襲の時の様子を車内から説明） ⑥爆弾三勇士石像（猿庫の泉付近）

## 2 対象・日時・参加者数

小学生の子どもいる家庭を対象に実施し7月27日（土）8組19人、28日（日）7組17人が参加。

## 3 参加理由

- ①夏休みの研究テーマとするため（7） ②平和学習に興味があったから（13）  
 ③飯田市の戦争歴史に興味があったから（18） ④その他（7（家族についてきた等））

## 4 感想など

- ・実際に戦争遺跡をまわって、説明を受けてわかりやすかった。当時の人々がどのようなことを思っ  
て戦争にのぞんでいたのか、とても考えさせられるツアーでした（保護者）
- ・地元に貴重な遺跡があることを知れて貴重な時間を過ごすことができました。お国のために、戦  
争に行った学生の気持ちを考えると何とも言えない気持ちになりました。また、ゆっくり祈念館  
を見学したいです（保護者）
- ・夏休み研究にするのでとても分かりやすくて良かったです。飯田市のこと、日本のことなどが良  
く知れてこのツアーに参加して良かったと思いました（小学4～6年生）
- ・飯田市内に戦争に関するものがこんなに残されているとは知りませんでした。平和について考え  
る良い機会となりました。こども達も戦争、平和についてテレビ以外で触れる初めての機会でし  
た。自分達の中で何か思う事感じた事が1つでもあり考えるきっかけになればいいと思います  
（保護者）
- ・説明をもう少し詳しく分かりやすくしてほしいです。でも、ツアー自体はとても面白いものだっ  
たので続けてほしいです（小学4～6年生）
- ・写真だけでなく実際に見に行く事で、より学ぶことが多かった。バスの中での説明、現地に行っ  
てからの説明と繰り返し説明を聞くと勉強になったし、より学ぼうという気持ちになった。（保護  
者）



飯田市平和祈念館見学の様子



希望の像の見学の様子



松根油採取場所見学の様子



爆弾三勇士の石像見学の様子

# ちいちゃんのかげおくり貸出セットについて

## 1 目的

飯田市平和祈念館が所蔵しながらも活用できていない平和資料を整理して貸し出す。  
小学校の授業に平和資料を活用し、授業の理解を深めるとともに平和学習を推進する。

## 2 貸出教材

小学校3年生 国語 「ちいちゃんのかげおくり」用

### 【あらすじ】

「かげおくり」とは、影法師をじっと見つめた後にすぐ空を見上げると、影が空に映って見えるという遊び。  
お父さんが戦争に向かう前日に、ちいちゃんとお兄ちゃん、お母さん、お父さんは4人で「かげおくり」をした。かげぼうしはまるで記念写真のように映った。家族3人の暮らしが始まった夏、空襲に遭いちいちゃんはひとりぼっちになる。家族を思いながら防空壕の中で干し飯で空腹に耐えるちいちゃん…悲惨な戦争に消えた、小さな命の物語。

### 【貸出セット一覧】

①召集令状 ②千人針 ③日の丸（寄せ書き） ④軍服（上衣）  
⑤ゲートル ⑥奉公袋 ⑦配給の衣料切符 ⑧白のたすき  
⑨防空頭巾 ⑩もんぺ ⑪雑嚢（肩掛けかばん）⑫女の子用ブラウス  
※①～⑦は祈念館所蔵品。⑧～⑫は貸出セットに合わせて作成

## 3 貸出した学校

7校（追手町小・伊賀良小・竜丘小・山本小・松尾小・座光寺小・龍江小）

※今後貸し出す学校 1校（千栄小）

## 4 活用の様子



召集令状、寄せ書きの日の丸、千人針を見る児童



防空頭巾を実際に着用して  
みる児童

## 5 活用しての教員の感想

・「ちいちゃんのかげおくり」には、「出征」「焼夷弾」「ざつのう」「ほしいい」など、今を生きるこどもたちには聞きなじみのない言葉が並びます。（教科書に）※印で解説も書かれていますが、解説文を読んでもイメージが難しかったと思います。

そこに、今回のような実物のセットがあることで、意味の捉えが深まったと感じます。たとえば、「お父さんが出征する前日に墓参りにいく」という表記があります。出征前に墓参りにいく心情は、直接的には描かれていません。しかし、「千人針」や「国旗への寄せ書き」の意味や実物を見ることで、出征に向かう人に対し、生存を願う人々の願いへと読みが深まっていきました。

衣装を着ることで、「自分と同じくらいの小さなこどもが…」と自分と重ねながら読む姿にもつながっていたと感じました。

# 令和 6 年度 飯田市平和祈念館来館者アンケート集計(4/1~9/30)

有効回答数 71人

※個人情報に関する部分は●にしてあります。

## ①居住地区

飯田市内 31 人、下伊那郡8人、長野県 11 人、その他 20 人(愛知県 6 人、岐阜県4人、茨城県1人、福井県1人、滋賀県 1 人、東京都3人、三重県1人、香川県1人、埼玉県 1 人、神奈川県1人)

## ②年齢

小学生 7 人、中学生5人、高校生3人、社会人 55 人

年代別

10 代 15 人、20 代 3 人、30 代 5 人、40 代 7 人、50 代 9 人、60 代 13 人、70 代 15 人、不明 4 人

## ③自由記述(抜粋)

### 【展示について】

- ・貴重な品々を実際に見て戦争を決してしてはいけないという気持ちを強くしました。(飯田市内・50代)
- ・ぎんこうまではかいされることが、いまではありえない。(下伊那郡・小学生)
- ・提供されている資料の全公開をお願いしたいです。真実を後世に伝える、伝えてもらうことがなければ戦争の怖さが伝わらないと思うからです。(下伊那郡・60 代)
- ・爆弾片が貫通してしまった銀行員春子さんの人生には心を打たれました。不自由な体でも家族を養うために働いていること、私は今、幸せで平和でありながらも怠けてしまうのに、春子さんは、家族を思い厳しい環境でも身を粉にして働きました。私も春子さんのような、優しく強い人になりたいです。(下伊那郡・高校生)
- ・中学校社会科教員です。これまでタブーとされてきた部分も展示されていて、子どもたちにとってすごく大切な学びになると思いました。飯田市がこのような取り組みをして下さるのはありがたいです。様々な意見がある部分もあると思うので、そこも包み隠さず、子どもたち自身に「あなたは思う？」という考える余地を持ってもいいと思いました。漢字にルビをつけてもらおうと、子どもたちも読みやすいと思います。(長野県・30 代)
- ・飯田下伊那の先人の証言(＝一次史料)をもとにして史実を伝えている姿勢、大変感心しました。様々な考えや説はあるかもしれませんが、二度とこのようなこと(戦争)をおこさないために飯田市のこの志を強く、敬意を抱きました。ぜひ、今後も展示をつづけ充実させて下さい。(長野県・30 代)
- ・731 部隊の記述に関して多くの時間と労力を用いてパネル展示なさったことに敬意を表します。本当にお疲れさまでした。平和祈念館がなぜあるのかと言えば、戦争に加担しない、軍事により物事を解決する方法を手放すためであると考えます。私たちが高校時代に登戸研究所の之研究員方から、重い口を開いてもらい語ってもらったのも「自分たちと同じことは繰り返してもらいたくない」との一念であるでしょう。/また駒ヶ根市からも仲間を誘って展示を見に来させて頂きます！！(駒ヶ根市議会議員・登戸研究所調査研究会メンバー・元赤穂高校平和ゼミナール 池田幸代氏)
- ・戦争当時の物が多く展示されており、文字だけでは分からない情報、状況を感じることができた。(飯田市内・30 代)
- ・新聞等で 731 部隊の展示について色々な事・対立意見がありました。真実を知ることが自分の考えをまとめていくことなので、これからも展示を継続して下さい。(下伊那郡・60 代)
- ・かんたんに分かりやすくして良いと思います。(飯田市内・50 代)
- ・小規模ながらとても見ごたえのある内容で、すばらしい祈念館だと思いました。こちらを知ったきっかけ

は、731 部隊に関する展示が(国内にあまりない中で)されているというニュース記事によるものでした。ただ展示内容は、地域と生活の視点が多く取り入れられているおかげで、見ているこちらに様々なことを(具体的に)想像させてくれる良い展示で、全国の各自治体にもこのような展示が増えるとすばらしいのではないかと感じました。(茨城県つくば市・40 代)

- ・昔はこんなことがあったことをくわしく正確にわかったので、ずっと覚えていたいです。(飯田市内・小学生女子)
- ・改めてこういう物を見て、戦争の怖ろしさをしました。(飯田市内・中学生女子)
- ・私も幼い頃、祖父母から聞かされてきた戦争の怖ろしさを今回も非常に貴重な展示の中から、思い出させてくれました。平岡ダム、暴力といじめの軍隊辺りで言葉を失います。そして、幼い頃を思い出して書いた油絵。泣けてきました。大切な資料館として永久に存続することを願います。ありがとうございました。  
※憲法前文の意味を深くかみしめました…。(飯田市内・40代男性)
- ・弾で穴のあいた服など実物が展示され、実感がわいてきます。知らないことがいっぱいあるのだと分かりました。(長野県伊那市・60 代女性)
- ・こうした勉強は、自分から興味を持たないとやろうとしない。改めて見ることができ、とてもよいと思った。こどもたちにも伝えていきたい。(飯田市内・40 代女性)
- ・以前の資料館より大変見易い展示でした。またゆっくり来たいと思います。LYL 運動やそれに対抗する運動、二四事件等、戦争前の飯伊の社会状況、活動も新たな視点を見せてくれ、良かったです。飯伊の戦没者の戦死地、松本連隊との関係等、知りたいことは沢山あります。(飯田市内・70 代男性)
- ・展示物があり、当時の状況がよく分かりました。(下伊那郡・中学生女子)
- ・戦争を知らない恵まれた中で生活させて頂いてきました。大変な事にあっていた様子、胸が詰まります。平和な世が続いて下さるように祈ります。(飯田市内・70代女性)
- ・731 部隊についての説明が大変分かりやすかったです。(愛知県・50 代)
- ・キナ臭くなってきた昨今の時世、この様な展示を拝見出来たことは非常に有意義だと思います。より多くの人々に見学して戴きたいものです。有難う御座居ました。(木曽郡大桑村・50 代男性)
- ・昔の物がたくさん残ってて、戦争について少し知ることができました。(飯田市内・中学生女子)
- ・戦争は大変だな～と感じました。(飯田市内・中学生女子)
- ・戦争の経過を庶民の立場から視て、わかりやすく展示されていた。飯田市も空襲の標的であったのはおどろいた。ますますの充実を祈念します。(愛知県名古屋市・70 代男性)
- ・昔のことくわしくわかった。(愛知県名古屋市・小学生男子)
- ・731 部隊の展示をありがとう。731 部隊、南京大虐殺のこと、もっと勇気だして展示してください。(滋賀県・40 代男性)
- ・地元の戦時下の状況がていねいに展示・解説が付され、飯田近辺の様子がよくわかりました。駅前の図書館の隣に常設され、いつでも誰でも参観できるのがとてもよいと思いました。戦争の準備を今日本はしている感じがします。どうしたら戦争をしないようにできるのか、展示の最後のところと最初に平和都市宣言を掲げられているところに飯田市の皆さんの決意を感じます。私の豊川も見習わなければ。(愛知県豊川市・60 代女性)
- ・市民の皆さんからこれだけの遺品が寄せられたという事は驚きです。終戦後も大切に保管していた事、それが多くの人に見える方(法)で市が展示した事は、家族の思いが報われる気がしました。終わりが「新しい憲法の話」で閉じられている事に多くの希望を見出します。展示場所の近くで若い人が学んでいる設定いいですね。ありがとうございました。(長野県・50 代女性)
- ・岐阜市にも平和資料室という市立の平和館がありますが、内容は岐阜空襲が中心で、戦争全体を見通せるものではありません。岐阜市の施設だから難しいかと思っていましたが、飯田市がこのような戦争と地域を結びつけて平和を伝えておられることに敬意を表します。特に加害についてもきちんと資料に基づいて展示説明されているところは素晴らしいと思いました。731 部隊の展示についても、具体的な器具など他では到底見ることはできないものです。公立の平和館でこれだけ展示ができていることに力づけられま

- した。今後も地域の方々に戦争と平和を伝えられることを祈念いたします。(岐阜県・70代以上男性)
- ・全体的に、積極的に平和を求める意志が貫かれていて大変すばらしいと思った。戦争はダメと言う言葉でのお茶をにごしたような平和展が多い中、骨太で具体的で日本人にとって負となる部分にも踏み込んだ資料がわかりやすく展示されていて感動した。飯田市には立派な人々が多いんだなあ、とか、飯田市の議会や役員さん達もすばらしいと思った。特に731部隊の資料が展示されていて、その勇気に拍手を送りたい。本では読んだりして知ってはいても、実物の注射器等の展示には心ゆさぶられた。飯田市のこの活動が全国に広まることを願っています。これからも頑張ってください。(岐阜県・70代以上女性)
  - ・基本的に、展示内容が大変充実し、また731関係の非常に貴重な展示がすばらしいです。戦争への抵抗の観点や九条をめぐる平和の観点も、他の資料館にはあまりなく、見識の高さがわかります。ただ731についての●●さんの証言や、もっと詳しいパネルが必要と思います。加害の面もしっかり伝えることにこそ日本の戦後責任があり、それが戦争をくり返さない教訓になるからです。(香川県・年齢性別不明)
  - ・731部隊の展示を見に来ました。証言者もいる長野県だから発信できること、戦争が人をどう壊してしまうのか、加害の面から振り返ることも大切かと思えます。引き続きご検討いただき、個々人の証言にフォーカスした展示が増えることを期待しています。(東京都・30代男性)
  - ・戦時の国状、郡下の生活がよく分かる展示をありがとうございます。全力を戦争に注力していた様子が分かる。今の学生も一回は見たほうがよいと思い、新聞等報道で知らせて欲しいと思います。(飯田市内・60代男性)
  - ・小さなスペースでしたが、思った以上に充実した内容でした。戦争体験者の方の証言をもっと読みたいです。特に731部隊。(東京都・40代女性)
  - ・お恥かしながら爆弾三勇士を知りませんでした。特攻隊員棚田さんのお手紙、この当時は上司が手紙の内容を見て弱音は認めなかったから、お国のため！！を第一の文章を書くように命じられたと聞いています。(飯田市内・60代女性)
  - ・私は歴史学科を卒業しました。卒論で日本軍の戦争犯罪を調べようとしたのですが、教授の反対にあい挫折しました。理由は明言しませんでした。関係者が生きている間はやめた方がよい、君の為だ、と諭されました。こちらのような資料館が開設される日が来るとは思っていませんでした。反対運動妨害運動があったとは思いますが、歴史を正面から見つめるスタンスを貫いて下さい。(三重県・60代男性)

## 【平和に関する感想】

- ・拝見できて良かったです。被害者と加害者の両面を持つことを感じました。(下伊那郡・60代)
- ・戦時中は様々な考えがあったと思いますが、日本のために戦った兵隊さんや国民に感謝したいと思いました。また、日本の滅亡を防ぐため終戦に努力されていた昭和天皇、鈴木貫太郎首相、阿南惟幾陸相などの方々にも感謝したいと思いました。特に、国民の事を大切に思っていた昭和天皇や、陸軍の暴発を防ぐため8月15日(玉音放送の日)に自刃した阿南陸相に尊敬の意を持っています。(飯田市内・高校生)
- ・本当に戦争は、人々の夢や希望を奪うひどい出来事であり、二度と忘れてはいけない、一人一人が胸に刻むべき歴史の一つと感じました。しかし、それと同時に「歴史は繰り返してしまうのか…」と言葉にはとても言い表せない、黒く塗りつぶしてしまうような気持ちに襲われました。今は情報化社会が進み、本当に大事な情報はどれか見失いつつあります。その中で未来のためにできることをやりたいと思い、この飯田市に来たことをとても嬉しく思います。漢字、カタカナ、ひらがな、英語…様々な字を書けるこの身体に感謝しかありません。(長野県・20代)
- ・憲法は大事、政治家が変える事ではない。戦争体験者、知らぬ者が多くなる現代、若い人や生活者に戦火が近づく事は絶対反対します。(下伊那郡下條村・60代男性)
- ・現代ではあたり前の事があたり前ではない時代。今はラインやメール電話ですが、当時は手紙や電報でしか状況がわからなかった。戦地で兵士が生きる希望を失くしている中、家族からの手紙を楽しみにしていた。それを想像してみると涙がでてきました。死んでから等級をもらっても、本人も家族もうれしいはずがない。散っていった若い命、散ってしまったから終わりではない。戦争など二度と起こしてはいけない。協力してはいけない。(木曽郡・50代女性)

- ・平和であることはとてもすばらしい。(飯田市内・20 代男性)
- ・一人でも多くの人が戦争の現実に触れることは、大事なことだと思います。(埼玉県・70 代以上男性)
- ・私は、6 年前まで軍歌が好きでよくスナックのカラオケで歌っていましたが、当時 80 代の方(戦争に行かれた方)に怒られて「面白おかしく歌うな！！戦争で亡くなった方の事も考えろ！」と怒られて、それ以来は歌うのを止めました。今は戦争で亡くなった方のご冥福を毎日祈っております。(飯田市内・60 代女性)